

● **ライブラリーツアー** 司書が図書館内を案内、検索の方法などを説明します。新入生やゼミでの参加、歓迎します。

● **図書館は楽しい～子どもと一緒に～** 藤園祭にあわせ図書館を開放して子どもたちを招き、絵本の読み聞かせ、紙芝居、本の展示などを行います。

● **本を読み語る会** 本を読み語り合うことを通して読書の楽しさを知るとともに、人間の生き方について考えます。

● **ビデオ、DVDを楽しむ会** 本学ならではのビデオやDVDをみんなで鑑賞します。教育実習前などの準備に特にお勧めです。

● **ただで使える教育用ソフトの案内と事例紹介** インターネットや市販されている雑誌等に無料で配布されている教育に役に立ちそうなソフトウェアを調査して、そのいくつかを事例によって紹介します。

名作をあなたに

過去に、中学校の教科書に載っていた名作を集めたアンソロジーです。森鷗外や夏目漱石の文豪の他に、山本周五郎や井上靖、安岡章太郎などの人気作家の作品もあります。また「赤毛のアン」や「アンネの日記」など、外国の作品も多く収録されています。教科書に掲載された

ものですので短編が多く、読みやすい作品集です。昔、中学校で勉強した懐かしい作品に巡り会うことができます。また、青少年向きの本が少ない現在、貴重な良書であるとも言えます。全巻、私が編集して解説を書いていますので、どうぞお楽しみ下さい。

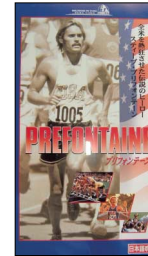
(国語・田中洋一)

◎光村ライブラリー-中学校編 (全5巻)
(光村図書出版、2005年)



◎プリフォンテン (制作・アメリカ、1997年) (ビデオ)

米陸上競技界に彗星のごとく現れたランナー、スティーブ・プリフォンテンのノンフィクションです。2000mから10000mの全米記録を独占した伝説的長距離ランナーで、アメリカでは、彼の走りをリアルタイムで見たことはなくても、自分のアイドルとする人は多いようです。プリフォンテンがコーチのビル・パウワーマンとぶつかりながらも、観客の記憶に残るレースをする姿には考えさせられます。ちなみにコーチのビルはスポーツブランド、ナイキの創立者の一人です。(司書・神月博)



◎第34回新体操研究発表会 (2005年9月21日、代々木) (DVD)

インカレ55連勝の歴史をもつ東女体大新体操競技部。大学創立103年の半分以上日本一を勝ち続け、また、ロス五輪から全ての五輪に日本代表として東女体大の学生が活躍しています。この強豪クラブの映像が図書館で視聴できます。毎年開催される『新体操研究発表会』がDVDになっています。東女体大新体操競技部に大きな声援を送って下さい。(新体操・加茂佳子)



インフォメーション

本をリクエストしよう!

『著者、書名、出版社、価格』(わかる範囲で)をリクエストすれば、1ヶ月ほどで希望の書物が入荷されます。入荷情報は、図書館の入口に掲示され、リクエスト者が優先して借りることができます。研究・論文執筆に必要な専門書、個人で購入するのが難しい高額書籍など、リクエストをお待ちしています。

あなたも「かわらジェンヌ」になりませんか?

「かわらジェンヌ」とは、「LiVREかわら版」を編集する本学学生5人のこと。昨年度より、図書館行事や本の紹介、耳よりな学校情報を学生の目線で記事にし、図書館を盛り上げています。現在「かわらジェンヌ」では人員を募集しています。学校生活をもう少し充実したいと思う人、興味のある方は図書館カウンターまでお願いします!(学部4年・藤本和代)

集中した読書を終えて内面の充実が湧き出る美しい顔、パソコンで卒業研究を書き上げた満足な顔、新刊コーナーで本を借りた希望に満ちた顔、図書館には様々な学生の顔があります。くつろぎながら新聞や雑誌を読んだり、ソファで沈黙考したり図書館には様々な利用の仕方があります。どうぞ図書館を大いに活用してください。(図書館事務長・高橋烈)

編集・発行：東京女子体育大学・短期大学 図書館委員会
東京都国立市富士見台4-30-1 TEL.042-572-4131

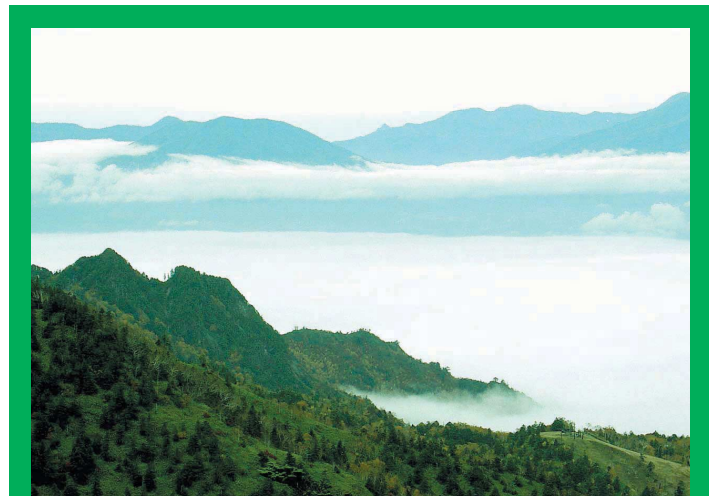
LiVRE

リーヴル

学校法人藤村学園 東京女子体育大学・短期大学付属図書館報
2006.4 No.3

山頂から 小野十三郎

山にのぼると
海は天まであがってくる。
なだれおちるような若葉みどりのなか。
下のほうで しずかに
かっこうがないている。
風に吹かれて高いところなたつと
だれでもしぜんに世界のひろさをかんがえる。
ぼくは手を口にあてて
なにか下の方に向かって叫びたくなる。
五月の山は
きらきらと明るくまぶしい。
きみは山頂よりも上に
青い大きな弧をえがく
水平線を見たことがあるか。



写真・森直幹

話題の映画・テレビを読む



博士の愛した数式 (小川洋子、新潮社、2003年)

ほんのりと温かい「博士の愛した数式」

皆さんの中には、数学と聞いただけで、寒気がするという人がいるかもしれませんね。交通事故の後遺症で、80分しか記憶が持続しない天才的数学者を主人公にした映画が上映されています。これは数学の苦手な人でも十分楽しめるお話です。数学者と、彼を取り巻く家政婦とその息子が織りなすドラマです。家政婦は実母と二代続く未婚の母で、家族のぬくもりを知らずに育っているのですが、博士のヘルパーの役割も果たして、献身的に支えます。博士は前日の記憶が消えてしまうので、彼女は毎日玄関で自己紹介をしなければならないという、本当は深刻なのだけれど、つい笑ってしまうシーンもあります。彼女の息子も大人以上に細やかな気配りのできる子で、登場人物の優しさが、映画全体をほんのりとした温かいものに仕上げています。監督は小泉堯史、主演は寺尾聰です。この二人は「雨あがる」「阿弥陀堂だより」と優れた作品を創り出している、日本映画界のゴールデンコンビです。原作は小川洋子の50万部を越えるベストセラーです。街に出かけて映画を見、大学の図書館で原作も読む。けっこうすてきな楽しみ方だと思いますが、いかがでしょうか。(国語・田中洋一)



自分を社会にアピールするために

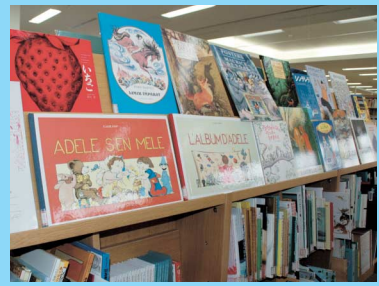
1日で分かる新型自己分析 (2005年度版) (監修・解説：細田恵子、日経人材情報、2003年)



みなさん、将来の「夢」は決まっていますか。その目標に向かい、何か努力していますか。「これからどんなことをしていきたいか、どんな自分でありたいか」「自分自身と会話をしてください。本書はカード式(①長所カード②エピソードカード③インタビュカード④仕事カード⑤取材カード⑥接点カード)などですので、自分の良いところを楽しみながら発見し、気づけば「自分の考え方」がまとめられる構成になっています。ぜひ一度手にとってみてください。新たな一歩を歩めると思っています。(ダンス・平田利矢子)

絵本と紙芝居の世界へ

図書館2Fに児童教育資料として絵本、紙芝居が配架されていることを知っていますか？



心を豊かにし夢を育む絵本、紙芝居は、幼児、児童の教育に欠かせない重要なものです。

ストーリーだけでなく子どもをひきつける表現方法や色彩の扱いなどにも興味を持って見てほしいですね。(美術・宿輪忍生)

ソファでゆっくりファンタジーにひたってください

私のはじめての“本”

—坂本清治先生の場合

先日、本屋へ行った。買いたい本があったわけではなくぶらりと入ったのだが、入り口の近くの棚に坪田譲治の『善太と三平』があった。1940年ころ出版された復刻版である。ぱらぱらとめくると懐かしい挿絵もあった。そうそうこれだ、何度も読んだ……。



先の戦争で空襲にあい、家が全焼して疎開していた私に姉が送ってくれた本。初めて持った自分の本がそれであった。

自分と同じ小学3年の三平と6年の兄善太が喧嘩をしたり、冒険をしたり、叱られたりする童話である。自分と重なった。高かったが買ってしまった。

(元道徳教育・坂本清治)

※本学図書館では「世界の名作図書館24」(講談社、1976年)にて読むことができます。



子どもが壊れる家 (草薙厚子、文藝春秋、2005年)

最近の少年犯罪は両親の揃ったごく普通の家庭の子どもが凶悪な犯罪を犯してしまう…。豊かになった時代、子どもたちにいったい何が起こったのでしょうか。神戸児童連

原因はなにか？

連続殺傷事件や佐賀バスジャック事件の少年、さまざまな少年少女たちの生い立ち、行動など、現代の少年犯罪について考えさせられる一冊です。(学部4年・渡辺恵美)

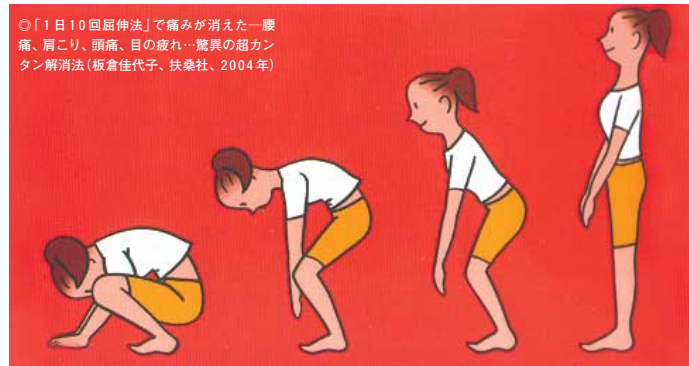
「1日10回屈伸法」で痛みが消えた

本学卒業生著書

腰・肩・目など、からだの不調は「硬くなったおしりの筋肉」が原因というのは、本学卒業生であり本書者の板倉佳代子さん(運動健康指導士)。彼女は、在学中に学んだ動きの原理を大切にしながら運動指導者としての豊かな経験と精神・神経科病院に勤務・指導しながら

研究を続け、その独自の指導法が評価され、本書が発行されました。

歪みの簡単チェックから基本エクササイズ(①お尻のストレッチ、②ゴキブリ体操、③腰回し体操、④1日10回屈伸法)など内容豊富。秘訣は「腰回せば万病治る」「継続は力なり」です。さあ、腰をぐるぐる回しましょう。(ダンス・高橋繁美)



◎「1日10回屈伸法」で痛みが消えた一腰痛、肩こり、頭痛、目の疲れ…驚異の超カンタン解消法 (板倉佳代子、扶桑社、2004年)

人間を見つめる

精神分析学者である著者は、アウシュビッツやその支所を経て解放されました。自ら過酷な生存状況にありながら、冷静な観察で管理者と収容者双方の心理を分析しています。次第に人間の存在そのものへと考察が及び、生きる事と静かに向き合う哲学的な文章で綴られます。極



◎新版「夜と霧」(ヴィクトル・エミール・フランクル著、池田春代子翻訳、みすず書房、2002年)



◎夜と霧—ドイツ強制収容所の体験記録 (ヴィクトル・エミール・フランクル著、霜山徳爾訳、みすず書房、1985年)

限の状態でも失われる事のない光の輝きは、生命の尊厳と慈愛にあふれており、一市民として我々がなにを成すべきか、それを考える契機になると思います。(美術・渡邊洋)